

# BVWR

(BAKV and BAKW Restore tool for Windows)

## BartPEによる復旧サンプル

### 注意事項

- バージョンにより一部操作などが異なる場合があります。ご利用に当たっては、十分ご注意下さい。
- 間違ったドライブに対して処理を行うと取り返しがつきません。取扱説明書を理解の上、十分に注意をし、処理を実施して下さい。
- 本説明書は未保証です。記載内容に誤りが有り、問題が発生した場合でも一切保証は有りません。また、作者に瑕疵が有る場合も保証致しません。利用する方の自己責任で、記載内容を十分吟味の後ご利用下さい。

## BartPEの出すエラーメッセージについて



- BartPE処理中に上の様なエラーメッセージが出る事が有ります。
- BartPEは、元来英語圏で作成されたプログラムですので、「デスクトップ」でなく「Desktop」でなければならないのですが、日本語圏用のウィンドウズXPは、「デスクトップ」を処理しようとしてこの様なメッセージを出すものです。
- 「OK」をクリックして次の処理に進んで問題有りません。
- 以下の処理でこのメッセージと似た物が出る場合が有りますが、BartPEの出すメッセージで、本プログラムの出すメッセージでは有りませんので、ご安心下さい。

## 復旧の前準備

- 復旧前に、ハードディスクの領域確保と初期化を行ってください。
- 領域確保と初期化は、別にPDF形式の説明書を作成しましたので、そちらを参照下さい。

## さあ復旧してみよう

- ハードディスクの初期化が完了したら復旧開始です。



- BartPEの左下「GO」をクリックすると、メニューが出ますので、[CommandPrompt(CMD)]をクリックします。

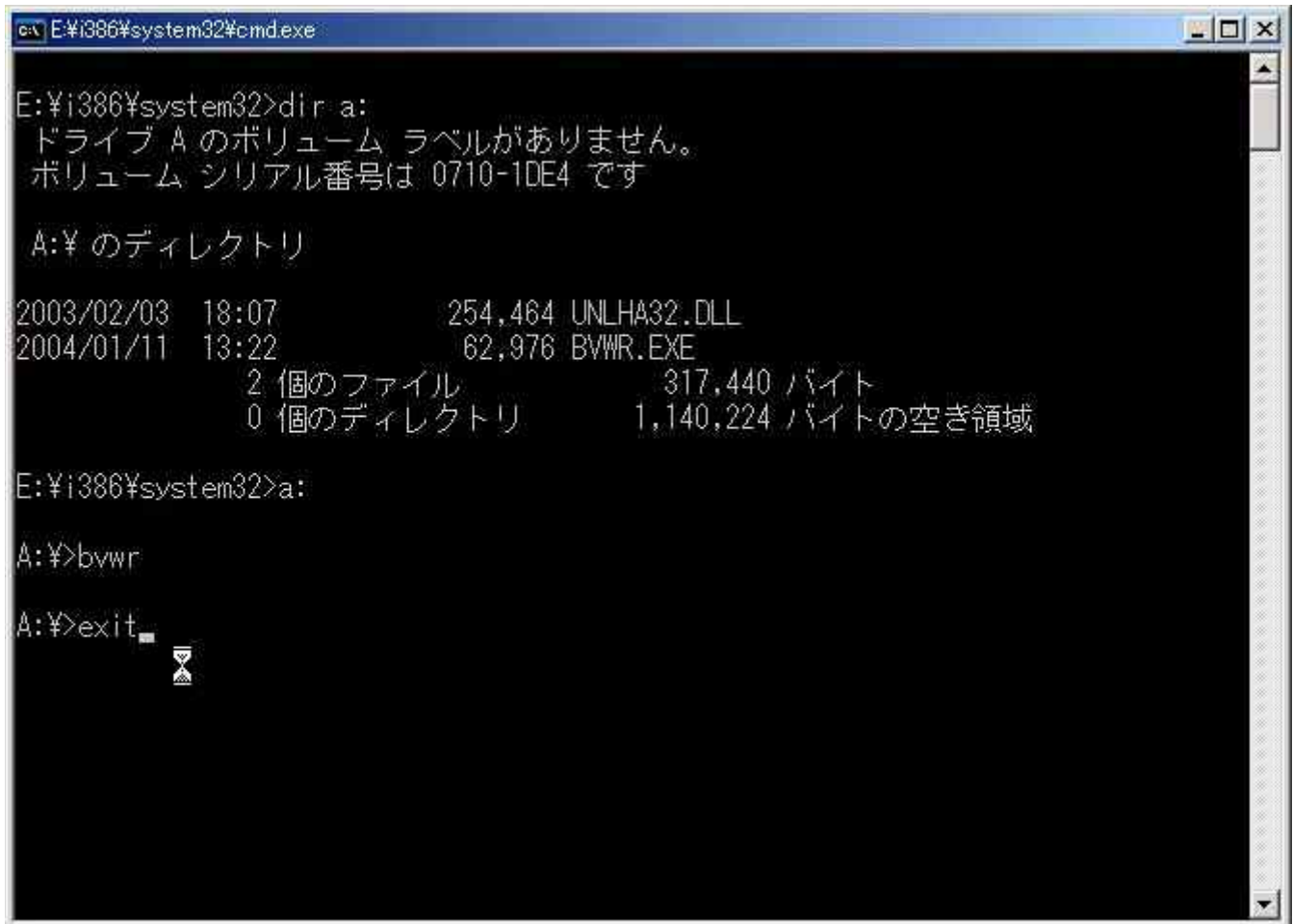
```
c:\E:\386\system32\cmd.exe
E:\386\system32>dir a:
ドライブ A のボリューム ラベルがありません。
ボリューム シリアル番号は 0710-1DE4 です

A:\ のディレクトリ

2003/02/03  18:07                254,464 UNLHA32.DLL
2004/01/11  13:22                62,976  BVWR.EXE
               2 個のファイル                317,440 バイト
               0 個のディレクトリ          1,140,224 バイトの空き領域

E:\386\system32>a:
A:\>bvwr
A:\>
```

- BVWRとUNLHA32の入ったFDを差し込みます。
- dir a: として、BVWR.EXE 及び UNLHA32.DLL がFDに格納されている事を確認します。
- a: としてカレントドライブを A: にします。
- bvwr として本プログラムを起動します。



```
c:\E:\i386\system32\cmd.exe

E:\i386\system32>dir a:
ドライブ A のボリューム ラベルがありません。
ボリューム シリアル番号は 0710-1DE4 です

A:\ のディレクトリ

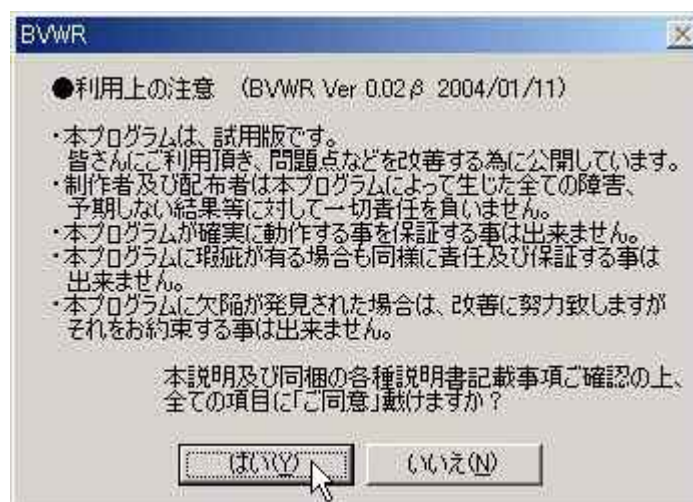
2003/02/03  18:07                254,464 UNLHA32.DLL
2004/01/11  13:22                62,976 BVWR.EXE
             2 個のファイル                317,440 バイト
             0 個のディレクトリ            1,140,224 バイトの空き領域

E:\i386\system32>a:

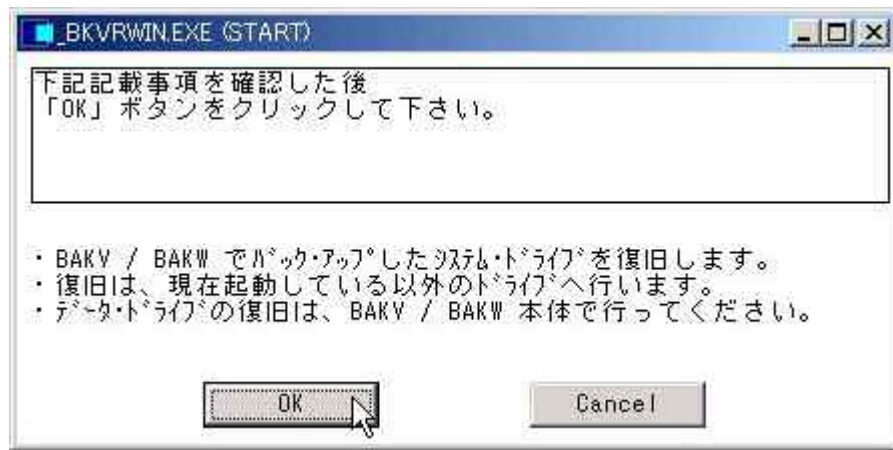
A:\>bvwr

A:\>exit
```

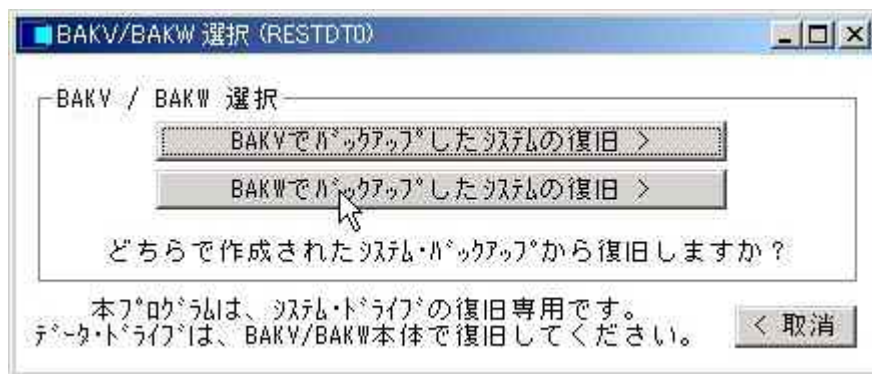
- 本プログラムが起動すれば、コマンドプロンプト画面は不要ですので、exitとして終了します。



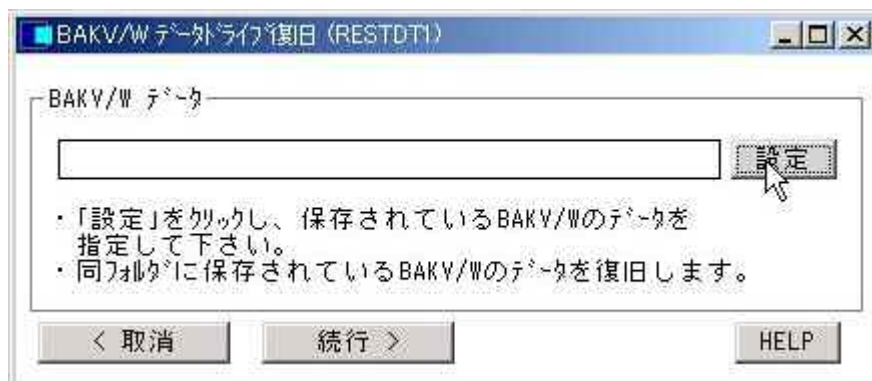
- 本プログラム起動画面の注意事項を読み、同意頂けたら「はい」をクリックしてください。
- 不同意の場合は、「いいえ」をクリックして本プログラムを終了してください。



- 枠内外記載事項を確認し、「OK」ボタンを押してください。
- 終了する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。



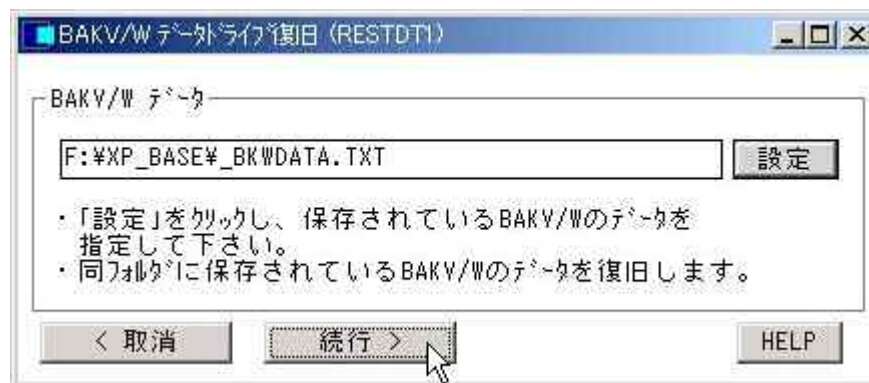
- 復旧するデータ形式を指定してください。
- 以下の例では、BAKWでバックアップされたデータを復旧します。
- キャンセルする場合は「< 取消」をクリックしてください。



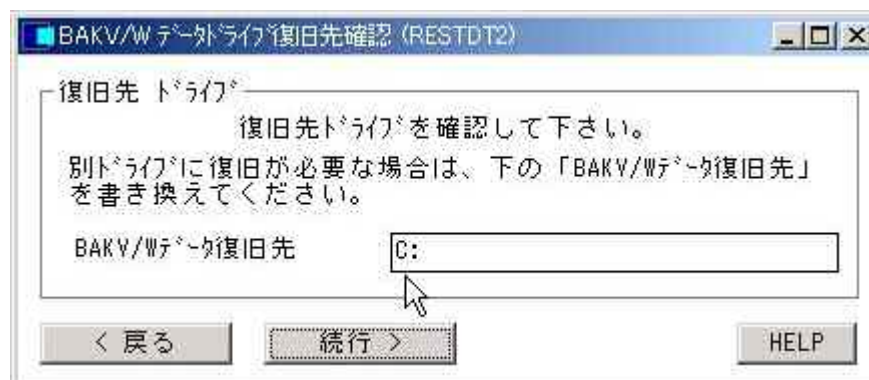
- 「設定」をクリックします。
- キャンセルする場合は「< 取消」をクリックしてください。



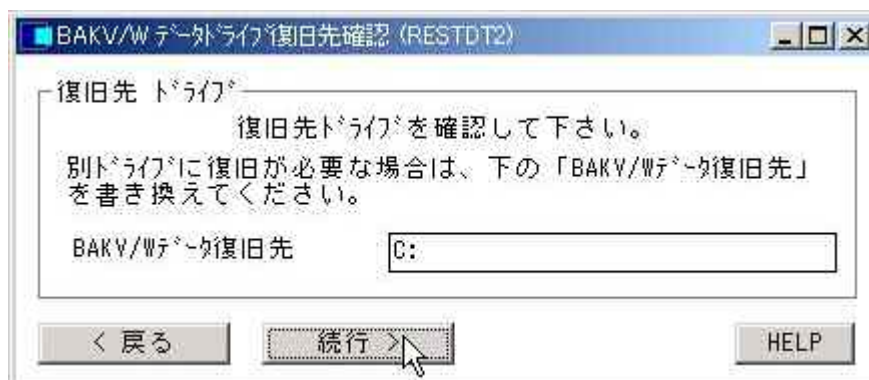
- 保存されている復旧データを指定してください。
- 「開く」をクリックします。



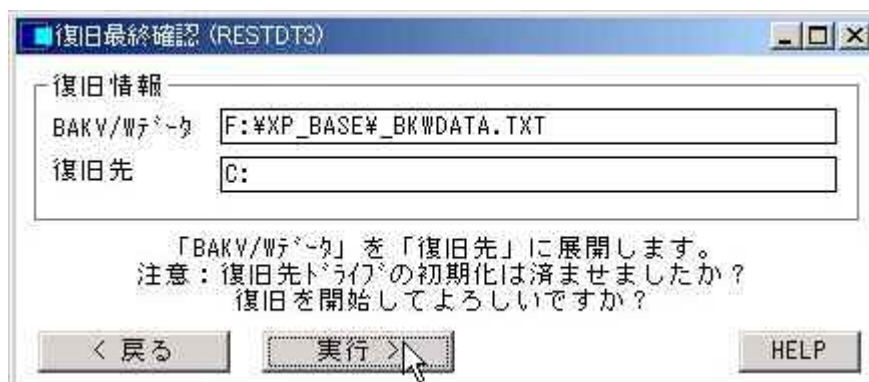
- データの設定が完了したら、「続行 >」をクリックしてください。
- キャンセルする場合は「< 取消」をクリックしてください。



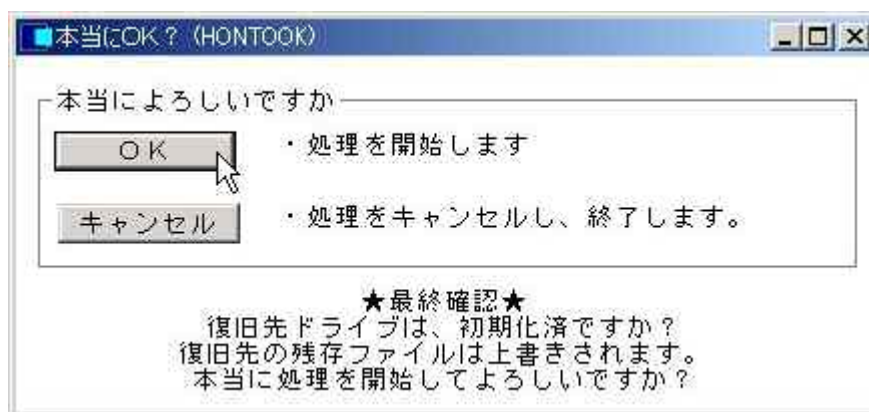
- 復旧先を確認してください。
- 異なる所に復旧する場合は、復旧先の枠内に D: 等とキー入力してください。
- キャンセルする場合は「< 戻る」をクリックしてください。



- 復旧先の確認が完了したら、「続行 >」をクリックしてください。
- キャンセルする場合は「< 戻る」をクリックしてください。



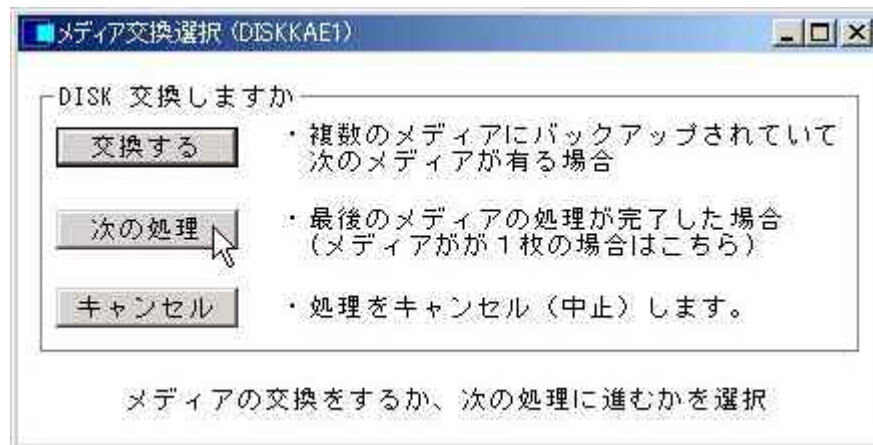
- データ・復旧先を再確認し、「実行 >」をクリックしてください。
- キャンセルする場合は「< 戻る」をクリックしてください。



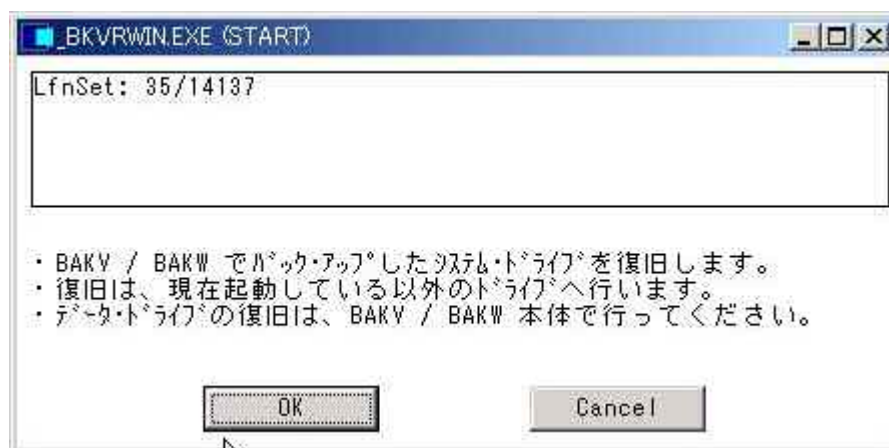
- 最終確認画面です。「OK」を押して次の処理に進んでください。
- キャンセルする場合は「キャンセル」をクリックしてください。



- UNLHA32.DLLが動きだし、システムを展開しています。
- のんびりとお待ち下さい。



- 復旧データを交換するかの問い合わせです。
- この見本では、1枚のDVD - Rで済みましたので、交換せずに「次の処理」に進みました。
- 複数枚のCDRやDVD - R等に分割保存されている場合は、「交換する」を選んでください。



- フォルダの属性設定や長いファイル名の処理をおこなっています。
- 「OK」「キャンセル」ボタンは無効ですのでさわらないでください。



- 完了すると上記メッセージが表示されます。

---

# お疲れ様でした